

「家庭基礎」学習指導案

広島県立尾道東高等学校

教諭 和田 雅子

本学習指導案のポイント（高校教育指導課 指導主事 松田 百合）

本学習指導案では、市販のオレンジジュースに似たジュースを生徒自身に調理させ、食品添加物を加えることで生じる変化を考察させる過程により、生徒自身の日々の食事と、食品の栄養や保存と健康に関する既習の学習内容とを関連付け、思考を深めさせるよう工夫している。

調理したジュースと市販されているジュースの味を似せることで、生徒の興味関心を高め、生徒自身が現代の食生活の課題とその解決策を見出すよう、導いている。

1 実施日：令和元年11月19日（火）5限：13時30分～14時20分（50分）

2 学年・学級：1学年1組（40名）国際教養コース

3 小単元名：食品の安全と衛生

4 小単元について

(1) 小単元観

本小単元は、高等学校指導要領家庭 科目「家庭基礎」内容(2)「生活の自立及び消費と環境」ア「食事と健康」を踏まえて設定したものである。

自分の食生活を振り返るなかで、現代の食生活の問題点について考え、健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生など基礎的・基本的な知識を習得するとともに、食にかかわる情報を適切に判断し、健康で安全な食生活を営むことができるようになることを目標としている。

(2) 生徒観

本校の生徒は、授業に意欲的に取り組み、学んだ知識をもとに、多角的な視点で思考を深め、表現することができる。しかし、食事の支度等については保護者に頼ることが多く、購入する食品に対する興味・関心も薄い。1年生にアンケートを実施したところ、食品を購入する時に「食品の表示を見て購入する」ものは17%、「ときどき見る」は37%、「全く見ない」は46%であった。食品の表示を確認して購入する習慣が身に付いていないことが分かる。

(3) 指導観

健康で安全な食生活を営むためには、食品の適切な選択や保存が大切であることについて理解させ、その上で、これからの食生活について考えさせるようにする。その際、身近な加工食品の加工工程における味や色、香りの変化から、食品添加物の効果を体験することにより、食品選択の際に食品の表示を読み取り、判断することが重要であることに気付かせるとともに、これまでの食生活分野の学習で習得してきた栄養と健康、調理に関する学習を振り返らせ、思考を深めさせるように工夫する。

5 小単元の目標

健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生など基礎的・基本的な知識を習得するとともに、食にかかわる情報を適切に判断し、健康で安全な食生活を営むことができるようになる。

6 小単元の評価規準

思考・判断・表現	知識・理解
・栄養、食品及び食品の保存についての課題を見出し、今後の自己の食生活における食品の選択について考えをまとめ、表現している。	・食品の適切な選択や保存の方法、食品表示の役割と意義、及び食中毒等の原因と予防方法を理解している。

7 指導と評価の計画（全3時間）

次	学習内容（時数）	評価				評価規準	評価方法
		関	思	技	知		
1	これからの食生活（1時間）				◎	各栄養素の特徴と加工上の特性、食生活を取り巻く環境について理解している。	・定期考査 ・ワークシート
2	食品の選択と保存（1時間）				◎	食品の適切な選択や保存の方法、食中毒の種類と原因を知りその予防法を理解している。	・定期考査
3	食生活の衛生と安全（1時間） （本時）		◎		○	食品の表示、食品添加物について理解している。 今後の食品の選択について考え、まとめている。	・定期考査 ・ワークシート

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・調理したオレンジジュースを試飲し、使用した食品添加物等の役割を理解する。
- ・健康で安全な食生活を営むための食品の選択の在り方について考える。

(2) 本時の評価規準

- ・食品添加物の役割、食品の表示について理解している。【知識・理解】
- ・栄養、食品及び食品の保存について課題を見出し、これからの自分自身の食生活における食品の選択について考えをまとめている。【思考・判断・表現】

(3) 準備物

教科書、ワークシート、プラスチック透明カップ、計量カップ、計量スプーン、スプーン、布巾、水、上白糖、オレンジ100%果汁、クエン酸（食品添加物用）、オレンジエッセンス（香料）、着色料（黄色）、市販のオレンジジュース

(4) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項◇ ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 本時の内容と目標を理解する。 ・自分の普段の食生活を振り返る。 ・オレンジジュースが加工食品であることを知る。	◇自分の普段の食生活を振り返らせ、加工食品とのかかわりを理解させる。 ◇オレンジジュースを作るには何が必要か考えさせる。 ◆グループ活動（2分）	
展開 23分	2 班ごとにオレンジジュースを作る。指示に従って、試飲や香りを確認し、ワークシートの「食レポ」に気づきを記入する。 ①水をコップに入れる ②着色料を加える・・・試飲 ③オレンジエッセンスを加える ・・・香りを確認する ④砂糖を加える・・・試飲 ⑤クエン酸を入れる・・・試飲 ⑥100%オレンジ果汁を加える・・・試飲	◇ワークシート配布 ◇オレンジジュースを作り、材料を加えるごとに起こる変化をワークに記入しながら活動するよう促す。 ◆机間巡回を行い、記述のヒントを伝える。 ◇班ごとに添加物の役割等を考えながらワークシートを記入できているか確認する。	
まとめ 10分	3 食品に関する表示について知る。	◇市販のジュースの表示を提示する。 ◆砂糖の1日の摂取量と、市販のジュースに含まれる砂糖の量を比較させ、普段の生活を振り返りながら自分自身の食生活を振り返らせる。	
	なぜ、このように食品添加物を使い食品を作るのだろうか。(Q3) なぜ、このジュースが32.6円でできるのだろうか。(Q4) このジュースの表示から、添加物だけでなく何が分かるだろう。		
	4 食品添加物について知る。 5 本時の内容を振り返る。 本時を振り返り、これからの自分自身の食生活における食品の選択について考え、ワークシートにまとめる。	◇食品表示は法律で定められていることを理解させる。 (教科書・資料集) ◆本時の学習の振り返りから、普段の食生活の課題を気付かせる。	
		食品添加物の役割、食品の表示について理解している。 【知識・理解】 (定期考査) これからの自分自身の食生活における食品の選択について考えをまとめ、表現することができている。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)	

(5) 本時の評価基準

評価	思考・判断・表現
A(十分満足できる)	栄養、食品及び食品の保存について課題を見出し、これからの自分自身の食生活における食品の選択について具体的に考え、食品添加物と食生活とのかかわりに関連付けながら表現している。
B(おおむね満足)	栄養、食品及び食品の保存について課題を見出し、これからの自分自身の食生活における食品の選択について考えをまとめ、表現している。
C(努力を要する)	これからの自分自身の食生活における食品選択についての考えを記述している。